

# ごみ処理広域化計画推進

## 討論の末、賛成9 反対2



地区ごみ集積場への不法投棄

別委員会もそうですが、広域化を推進する決議が、今必要なのか分りません。昨日の特別委員会では、なぜ広域化が必要なのか、その理由を一人ひとりに求められたが、さしたる理由らしきものは何もなかった。ただ今の流れがそうだから、これまでの流れがそうだったからという程度のものでしかありません。極め

て消化不良だと思えます。それから25日の主旨のところ、ごみ処理広域化計画が一旦白紙に戻り」ということが明言されています。「どの自治体においても行政と住民がともに協力して臨まなければならない最重要課題について、今後この村のごみ処理はどうあるべきか、減量化・広域化などさまざまな課題について

住民の皆様から直接忌憚きたんのないご意見をお聞きするために開催するものです」とあります。これに対して、委員長はどう思われますか。今ここで、なぜ決議する必要があるのですか。

### 答

(太谷正治)「当選されて出てきた議員の意見を、十分聞き取りながら広域化に邁進していきたい」と、

広域議会の場で白馬村長が発言していただきましたので、特別委員会で全員から意見を聞きました。また、村が25日住民懇談会を行なうことは当然であり、これから新たな出発をするには、住民の意見を反映させていくという意思が確認されるべきだと思っております。私たちもその場所に出席し、住民の意見を十二分に聞く予定です。またそれが特別委員会の中に反映できればと思っております。私たちの思いも小林議員の思いもそんなに変わらないものだと思います。私たちのために利益があるよう一生懸命務めていきます。

### 本会議での討論

#### 反対討論 (渡辺俊夫)

議会の使用の一つには、執行機関の行政の運営や、事務処理ないし事業の実施が全て適法・適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的になされていくかどうかを批判し、監視することです。二元代表民主制をとる我国の地方自治体の運営にあって、議会は盲目的な行政追認機関に成り下がってはなりません。今こそ議会としてまず着手しなければいけないことは、今後同じ轍を踏まないためにも、計画立案からアンケート結果に至るまでの行政手法に関して、一旦立ち止まり、どこにどのような問題があったのか住民の代表として、住民とともに精査することです。この決議により議会本来の責務を放棄すると思えます。

#### 賛成討論 (太田伸子)

村の財政面・環境面、またこれからの村民のための将来を考え、